

# 1月 ふかおみめんごちゃん

梁堀保育園 R3.12.27発行

## ★1月組 「まねっこ、まねっこ」



ゴソゴソ

たのしいな

ほくち、ほくち

## ★1月おん組 「一緒にやろう」



保育者との遊びが中心だった“1月組”ですが、少しずつ周りにいる子どもへの関心が高まってきました。周りの子の遊びに関心をもち、そばに行つて同じことをして楽しんでいるこの頃です。この日は、ままごとの中に入ったスプーンで「ゴソゴソ」と歯ブラシに見立てて遊んでいた子に保育者が「歯磨きしてきれいな歯になったね」と声を掛けると、周りにいた子どもその面白さに気が付いて、真似を始めました。また、食材を混ぜるボールも、子どもたちのイメージで帽子やトイ、太鼓など次々と用途が変わり、真似っこして楽しんでいます。子ども達の興味、好奇心に保育者が寄り添って行動し、関わっていくことがとても大切な時期。同じことをしたいがために、玩具の取り合い等のトラブルも増えていくことが考えられますが、それぞれの子どもたちの気持ちを理解した対応をしていき、この後のいつしよだたの楽しいね!につながる関わり方を知らせていけるようにしていきたいと思いました。

**こんなことが育っていてほしいなあ...**  
**保育者と一緒に生活や遊びの中での体験を通して、周りの子や物への興味、関心が高まってほしいなあ。**

当初は作った物を家に持ち帰ることで満足していた“1月おん組”の子ども達でしたが、その一つ一つの遊びの過程を大事にしていたことで遊びが満たされ、友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を味わえるようになってきました。子ども一人一人の思いを大事にしながらもその上で、共同的に遊ぶにはどうしたらよいか、子どもそれぞれの思いのぶつかり合いでは上手く遊びが進められないことを学び、納得できる方法、折り合いの付け方を今、経験している最中です。嬉しくも悔しくもあったりする段階なので、今後友達と一緒に遊ぶ楽しさをもっともっと経験し、関わりを深められるようにしていきたいです。

**こんなことが育っていてほしいなあ...**  
**友達と一緒に同じ目的の遊びに向かい話し合い、協力しながら遊ぼうとする力が更に育まれたいなあ。**

就学に向けて、文字への関心がますます深まり、自分が分かること、分からないことを友達と伝え合い、ひらがな表をつかいやり取りしている場面。

ガチャポン作りが9月から始まり、友達とアイデアを出し合い、目的の形や使い勝手を良くするために物や用具を集めてきて協力している場面。毎回進化している。

ガチャポン作りをする中で、4歳児が興味を示し、作り方や使い方をシクチャーし、一緒に遊びを進めようとしている場面。